



Three Kings' Day：授業アイデア（簡単版）

三賢王の日（公現祭）をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 三賢王へのお願いカード

中学・20分

🎯 I would like ~ / because ~ を使って、ほしい物とその理由を英語で書く。

1. スペインの子どもがくつをみがいて1月6日の朝を待つ話を、写真とともに紹介する。
2. Dear Three Kings, I would like ~ because ~. の形で、ほしい物（物でなくてもよい）をカードに書く。
3. カードをくつ型の箱に入れ、先生が何枚か読み上げて、だれのカードか当てる。

2. ロスカのくじ引き：世界の「当たり」くらべ

高校・30分

🎯 国ごとの習慣を読み取り、比較の表現で発表する。

1. スペイン・メキシコ・フランス・イタリアの1月6日の習慣を、グループごとに英文カードで読む。
2. 「当たった人はどうなるか」（王様になる・代金を払う・タマレスを作る）を表にまとめる。
3. In Mexico, the person who finds the doll has to ~, but in France, ~. の形で発表する。
4. 日本の運だめしの習慣（おみくじなど）と比べて、一言感想を書く。



1. 三賢王へのお願いカード

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

スペインの子どもが1月6日の朝を待つ習慣を知り、Dear Three Kings, I would like ~ because ~. の形で、ほしい物（物でなくてもよい）とその理由を英語で書ける。

準備

- パレードの三賢王・みがいたくつ・くつのそばのプレゼントの写真（3枚）
- アクティビティ集 B4（カード：Dear ____ / From ____ の欄つき）を1人1枚
- くつ型の箱（空き箱に紙のくつをはったものでよい）
- 基本セット p.1（読解：Presents in Your Shoes）の第1段落と、英語ページの音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	みがいたくつの写真を見せ、「なぜくつをみがくのか」を予想させる。英語ページの音声で本文の第1段落を聞かせ、スペインでは1月5日の夜にくつを出して寝ること、待っているのはサンタではなく3人の王様であることを確認する。	写真を見て理由を予想し、第1段落を聞いて答えを確認める。	"Look at these shoes. Why are they so clean?" "Listen to the story." "They are not waiting for Santa Claus." "They are waiting for three kings."
展開1	5	パレードとプレゼントの写真を見せ、1月6日の朝、くつのそばにプレゼントが届くことを話す。先生のカードの見本（Dear Three Kings, I would like a new bike because I want to ride to the sea. / I would like more time with my family because ...）を読み、ほしい物は物でなくてもよいことを伝える。because のあとには理由の文が続くことを確認する。	見本を聞き、自分がほしい物とその理由を考える。	"In the morning, children find presents by their shoes." "Here is my card. Dear Three Kings, I would like a new bike." "Why? Because I want to ride to the sea." "Your wish can be a thing or not a thing."
展開2	7	B4 のカードを配り、Dear Three Kings, で書き始め、I would like ~ because ~. を1~2文書かせる。From の欄には名前を書かず、カードを裏返してくつ型の箱に入れさせる。書けた生徒には、2つ目のお願いを足させる。	カードにお願いと理由を英語で書き、名前を書かずに箱に入れる。	"Start with 'Dear Three Kings.'" "Write 'I would like' and 'because.'" "Don't write your name. It's a secret." "Put your card in the shoe box."
まとめ	4	箱からカードを4~5枚引いて読み上げ、だれのカードかを当てさせる。当てるときは Is it Ken's card? の形で言わせ、本人は Yes, it's mine. / No, it isn't. で答えさせる。最後に、悪い子には石炭が届くが本当は砂糖菓子だという話を紹介して終える。	読み上げられたカードを聞き、だれのお願いかを英語で当てる。	"Listen. Dear Three Kings, I would like a dog because ..." "Whose card is this? Is it Ken's card?" "Bad children may get black coal." "But don't worry. It is really sugar candy."

板書例

Three Kings' Day (January 6)

January 5 night : clean your shoes → presents by your shoes

Dear Three Kings,

I would like ____ because ____.

例 : I would like a new bike because I want to ride to the sea.

From ____

当てるとき : Is it ____'s card?

Yes, it's mine. / No, it isn't.

評価のポイント

- I would like ~ because ~. の形で、お願いと理由をつなげて書けたか。
- because のあとに主語と動詞のある文を書けたか。
- カードの読み上げを聞いて、Is it ~'s card? と英語で反応できたか。

つまづきへの手だて

- ほしい物が思いつかない生徒には、物（a bike / a dog）と物でない物（more time / good health）の例カードから選ばせる。
- 理由が書けない生徒には、because I want to ~. / because I like ~. の2つの型を渡す。
- スペルがわからない語は、先生が小さな紙に書いて渡す。

発展

- B4 のカードに載っている greetings（Happy Three Kings' Day! / ¡Feliz Día de Reyes!）をカードの最後に書き足す。
- 基本セット p.6 の迷路（Help the camel follow the star!）で、ひみつの語 KINGS を見つける。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで crown・star・camel・gift・shoe を書く。

使う教材

- アクティビティ集 B4（カード）
- 基本セット p.1（読解：Presents in Your Shoes）と英語ページの音声
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）



2. ロスカのくじ引き：世界の「当たり」くらべ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

スペイン・メキシコ・フランス・イタリアの1月6日の習慣を英文カードから読み取り、「当たった人はどうなるか」を表にまとめ、In Mexico, the person who finds the doll has to ～, but in France, ～. の形で比べて発表できる。

準備

- 英文カード4枚（記事の国くらべ表の英文より。スペインはロスコンの会話の If you find the bean, you pay for it! も加える。イタリアはペファーナの英文）をグループに1組
- 表のワークシート（国・食べ物や習慣・隠れている物・当たった人はどうなるか の4列）
- アクティビティ集 B5（国比べ：スペイン・メキシコ・プエルトリコ・イタリアの表）
- 基本セット p.1（読解）の第4段落（rosca de reyes の段落）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	基本セット p.1 の第4段落を音声で聞かせ、メキシコでは人形を当てた人が2月2日にタマレスを作ることを確認する。最後の文 everyone hopes to find the doll, and everyone hopes not to find it! を読み、なぜ当てたいのに当てたくないのかを問う。	第4段落を聞き、「当たり」がうれしくて困る理由を考える。	"Listen to paragraph four." "A tiny doll is hidden in the bread." "Everyone hopes to find it, and everyone hopes not to find it. Why?" "Today, let's compare the "lucky" pieces in other countries."
展開1	8	4人グループで、スペイン・メキシコ・フランス・イタリアの英文カードを1人1枚担当させ、読ませる。読んだら自分の国について、何を食べるか・何が隠れているか・当たった人はどうなるかを、ほかの3人に英語で説明させる。	担当の国のカードを読み、グループの仲間に英語で説明する。	"Each person reads one card." "Find three things: the food, the hidden thing, and what happens to the finder." "Now tell your group about your country."
展開2	7	聞いた内容をワークシートの表にまとめさせる。スペインはマメを当てた人がパンの代金を払う、メキシコは人形を当てた人が2月2日にタマレスを作る、フランスはフェーヴを当てた人がその日の王様になる。イタリアはお菓子の当たりではなく、ペファーナがお菓子を配り、悪い子には黒い砂糖の「石炭」が届くことを書かせる。	4か国の「当たった人はどうなるか」を表にまとめる。	"Fill in the table with your group." "In Spain, who pays for the bread?" "In France, what happens to the finder?" "Is there a hidden doll in Italy? Check your card."
展開3	6	In Mexico, the person who finds the doll has to make tamales on February 2, but in France, the person who finds the small figure becomes king for the day. を例に、2か国を比べる文を書かせる。各グループ1文ずつ発表させる。	has to と but を使って2か国を比べる文を書き、発表する。	"Compare two countries in one sentence." "Use "has to" and "but."" "In Mexico, the finder has to make tamales, but in France, the finder becomes king." "Group 1, please read your sentence."
まとめ	4	日本の運だめしの習慣（おみくじなど）を思い出させ、どの国の当たりがいちばんうれしいか、日本と比べて一言感想を書かせる。英語で書ける生徒は英語で書かせる。	日本の運だめしと比べて、一言感想を書く。	"In Japan, we have omikuji." "Which "lucky" piece do you want to find? Why?" "Write one comment."

板書例

Who finds the lucky piece?

I food | hidden thing | the finder ...

Spain | roscón | a bean | pays for the bread

Mexico | rosca de reyes | a baby Jesus doll | makes tamales on Feb. 2

France | king cake (ガレット・デ・ロワ) | a small figure (フェーヴ) |

becomes king for the day

Italy | — | — | Befana brings candy (bad children : black sugar "coal")

In Mexico, the person who finds the doll has to _____,

but in France, _____.

日本：おみくじ など → 一言感想

評価のポイント

- 英文カードから、隠れている物と当たった人の役目を正しく読み取れたか。
- has to と but を使って、2か国のちがいがわかる文を書けたか。
- グループの仲間に、担当の国の習慣を英語で説明できたか。

つまづきへの手だて

- 読むのに時間がかかる生徒には、カードの finds / becomes / makes / pays に線を引いておき、そこから読ませる。
- 比較文が書けない生徒には、the person who finds ____ has to ____ の型に、表の語句を入れさせる。
- 説明が苦手な生徒には、表の1行を指しながら読み上げる役にする。

発展

- ニューオーリンズでは、人形を当てた人が次のキングケーキを用意する決まりがあることを紹介し、表に1行加える。
- フランスでいちばん年下の人がテーブルの下にもぐって切り分けを決める理由（ずるがでかいようにする工夫）を英語で説明する。
- Discussion の問い Japan also has food with a hidden "lucky" item or a game for the new year. Can you think of one? にペアで答える。

使う教材

- アクティビティ集 B5（国比べ）
- 基本セット p.1（読解：第4段落）と英語ページの音声
- 記事の国くらべ表の英文